



## 師走です。でも、走らず落ち着いた締めくくりを！！

早いもので、今年も今月を残すのみとなりました。何かと気ぜわしい毎日が続きますが、1年の締めくくりの月であるからこそ、子どもたちとじっくりと向き合い、落ち着いた締めくくりをお願いいたします。また、交通事故や犯罪等が増える時期でもあります。子どもたちの様子に気を配るとともに、登下校や学校生活において、安心安全な環境の再点検をお願いします。さらに、今年はマイコプラズマ肺炎が例年になく流行しています。しかも罹患者の80%以上が14歳以下の子どもたちだそうです。手洗いうがい等の励行を呼びかけていきましょう。

先生方ご自身も、健康管理と事故等には十分ご注意いただき、今年の締めくくりをしっかりと行っていきましょう。

### 【12月の予定】

市教育研究所主催行事    市関係行事    学校関係行事    その他

日	月	火	水	木	金	土
				1 就学支援委員会 14:00 初任研	2 要請訪問(石橋小)	3
4	5 教職5年目研修 S&U 南河内中	6 2・3年目研修(石橋中)14:00 要請訪問(国西小)	7 要請訪問(国東小)	8 市小学校長研修会 国分寺小 市栄養教諭学校栄養職員研修会 14:00	9	10
11 南河内地区 駅伝大会	12 小中英語交流授業(国分寺小) 小中連携プロジェクト委員会(国分寺小)	13 下地区学体連研修会 市学習指導主任研修会(総教センター)	14 要請訪問(南河内中)(南河内第二中)(国分寺中) S&U 古山、国分寺小、南河内第二中、石橋中	15 初任研 S&U 薬師寺小	16 S&U 石橋小、吉田西小 幼保小連絡協議会研修会 14:00 グリム保育園	17
18	19 	20 S&U 吉田東小 要請訪問(南河内第二中)	21 巡回相談(薬師寺小)	22	23 天皇誕生日	24
25	26 冬期休業 ~1/9 ・郷土料理教室(道の駅しもつけ)9:20~	27 郷土料理教室(道の駅しもつけ)9:20~	28	29	30 	

# 資料の紹介 第4弾(特別支援教育関連)

資料の紹介第4弾は、特別支援教育関連の紹介をいたします。

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援が求められている今日、通常の学級における特別支援教育の重要性が増しています。県教育委員会では、そのための個別の指導計画の作成や活用のリーフレットおよび手引を作成し配布しています。先生方一人一人や各学校に配布されておりますので、ご活用ください。

①

②

③

④

① 特別支援教育関係資料  
小・中学校及び高等学校における発達障害のある児童生徒へのさらなる指導の充実を目指して  
特別支援教育の目指すものは…  
特別支援教育をすすめるためには、障害の有無にかかわらず、学級のすべての児童生徒に対して、一人一人が本来持っている力を最大限に発揮できるように、温かくあたたかな指導を行うことが重要です。そのためには、学習や生活の場面で児童生徒にとっての「安心感」と「わかりやすさ」を高める指導に取り組むことが大切です。

② 通常の学級における特別支援教育  
特別支援教育関係資料3  
学級担任による個別の指導計画の活用  
通常の学級で特別支援教育をすすめるためには、障害の有無にかかわらず学級のすべての子どもに対して、一人一人が本来持っている力を最大限に発揮できるように、温かくあたたかな指導を行うことが重要です。そのためには、学習や生活の場面で子どもにとっての「安心感」と「わかりやすさ」を高める指導に取り組むことが大切です。

③ 個別の教育支援計画の作成について  
「個別の教育支援計画」とは…  
障害のある幼児児童生徒一人一人について、障害の程度から適切に対応していくという考えのもと、個別の教育支援計画を作成して一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うためのものです。  
なお、各学級担任における最終的な指導計画については、学校長が作成する個別の指導計画の作成、校長等の関係機関と連携して適切な支援計画に基づき実施されます。

④ 一人一人の教育的ニーズに応じた支援のために  
～通常の学級における特別支援教育の手引き～  
平成18年3月  
栃木県教育委員会

①～③は、全教員に配布してあるリーフレット。④は、各校に1冊ずつ配布してあります。県教委のホームページよりダウンロードもできます。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m05/education/gakkoukyouiku/tokubetsu/tokubetsu-shien01.html>

このホームページの下の方の「特別支援教育に関する資料」の覧に、掲載されています。

## スキルアップ：ワンポイント講座

### パソコンに向かう正しい姿勢について

小学校1年生がパソコン室に始めて入る時期になりました。また、パソコン室に慣れてきた子供たちの椅子に座る姿勢が、だんだん乱れてきたようです。ちょうどよい機会なので、パソコンに向かうときの正しい姿勢についてまとめました。健康のために、守る習慣をつけましょう。

#### 【椅子の高さ】

キーボードに手を置いたとき、肘が90度以上になる高さ。できれば履物の裏面全体が床に設置するように足置き台を置くとよいです。

#### 【体の位置】

ディスプレイとキーボードと頭の位置が一直線上になるようにする。(足を組んだり、椅子を回転させないようにしましょう。)

#### 【ディスプレイの位置】

画面から目までの距離を40センチ(ワイドモニターは50センチ)以上離します。画面の高さと向きは水平視線よりやや下向き(ディスプレイの上端が目の高さ前後)になるように調節します。

#### 【輝度とコントラストの調整】

印刷した白い用紙と見比べて、液晶ディスプレイの色が同じになるように輝度やコントラストを調整するとあまり疲れない状態になります。調節方法がわからない場合は、情報教育アドバイザーまでご依頼ください。

※内容は、平成14年に厚生労働省が定めた「VDT作業における労働衛生管理のためのガイドライン」を基にしております。ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/04/h0405-4.html>

